

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	歴史文化学コース (西洋史学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol>	<p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概念的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広める。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究手法を学ぶ講義科目や文献講読を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要なとするスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>	<p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献にあたり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いパースペクティブを養うことができる。</p>
--	---

**専門分野のカリキュラム**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期						
11023	地中海世界史概説	古代・中世における地中海沿岸世界の発展の全体像を把握する。	1,2,3,4	*		◎				◎	◎
11024	西洋中世史概説	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深めること、また歴史を研究する上での基本的な方法について学びとることが、学習目標となる。	1,2,3,4	*		◎				◎	◎
11025	西洋近代史概説	・西洋近代世界の成立と発展を理解する。 ・西洋近代の現代的意味を理解する。	1,2,3,4		*	◎				◎	◎
41701	地中海世界政治史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の政治過程上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4		*	○				○	○
41702	地中海世界社会史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の社会史上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4		*	○				○	○
41703	地中海世界国際関係史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の国際関係上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2,3,4		*	○				○	○
41704	西洋中世都市史特殊講義	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深めること、また歴史を研究する上での基本的な方法について学びとることが、学習目標となる。	2,3,4		*	○				○	○
41705	西洋中世国制史特殊講義	さしあたり以下の4点が目標。1)スイスはヨーロッパのどこに位置し、どのような地理的・言語的環境の下にあるのか。2)スイスはドイツ、フランス、イタリアなどの諸国家とどこがどのように違っているのか。3)スイスという国の領域的な枠組みが固まるプロセスにおいて、都市や村落はどのような役割を果たしたのか。4)ハプスブルク家はスイスとどのような関係にあったのか。	2,3,4		*	○				○	○
41706	西洋中世社会史特殊講義	1)ヨーロッパの中世後期は歴史全体のなかでどのように位置づけられてきたのか、またどのように位置づけるべきなのか。2)社会史にはどのようにアクセスしていけばよいのか。3)社会史の問題を考える際に中世のドイツやスイスはどのような個性を持っているのか。4)とりわけスイス中世史の概説的理解はどのように塗り替えられるべきなのか。	2,3,4		*	○				○	○
41707	西洋近代国際関係史特殊講義	近代における西洋と非西洋との関係を理解する	2,3,4		*	○				○	○
41708	西洋近代政治文化史特殊講義	万国博覧会研究、近代イギリス史研究、近代ヨーロッパ史研究の最新の研究動向を学び、理解する。	2,3,4		*	○				○	○

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	歴史文化学コース (西洋史学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol>	<p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概念的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広める。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究方法を学ぶ講義科目や文献講読を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要なスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>	<p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献にあたり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いパースペクティヴを養うことができる。</p>
---	---

**専門分野のカリキュラム**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期					
41709	西洋近代文化表象史特殊講義	世紀末から世紀初頭のイギリス社会には様々な不安が表出していた。アメリカ、ドイツの台頭による経済大国としての地位の揺らぎ、南ア戦争泥沼化などによる帝国の不安など。そうした不安は「逆植民地化」reverse colonizationの恐怖さえ引き起こしていた。この時代の文学作品にはそうした不安が色濃く影を落としていた。こうした作品に見られる、この時代の不安の文化的表象を理解する。	2,3,4		*		○			○
41713	西洋古代・中世史特殊講義A	西洋古代・中世史の最新の研究成果を学び、この時代の歴史について方法論を学ぶ	2,3,4	*			○			○
41714	西洋古代・中世史特殊講義B	西洋古代・中世史の、Aで取り上げられた以外の分野に関し、最新の研究成果を学び、この時代の歴史について方法論を学ぶ	2,3,4	*			○			○
41715	西洋近・現代史特殊講義A	西洋近・現代史の特定の分野に関し、最新の研究成果を学び、この時代の歴史について方法論を学ぶ	2,3,4	*			○			○
41716	西洋近・現代史特殊講義B	西洋近・現代史の、Aで取り上げられた以外の分野に関し、最新の研究成果を学び、この時代の歴史について方法論を学ぶ	2,3,4	*			○			○
41717	地中海世界政治史演習A	古代・中世の地中海政治史に関する一次史料の英訳を輪読しながら、そこからいかなる情報が得られるかを検証する。	2,3,4	*	*		△	△	△	△
41718	地中海世界政治史演習B	Aの課題を引き継ぎ、その深化を目指す。	2,3,4	*	*		△	△	△	△
41719	地中海世界社会史演習A	古代・中世の地中海社会史に関する一次史料の英訳を輪読しながら、そこからいかなる情報が得られるかを検証する。	2,3,4	*	*		△	△	△	△
41720	地中海世界社会史演習B	Aの課題を引き継ぎ、その深化を目指す。	2,3,4	*	*		△	△	△	△
41721	地中海世界国際関係史演習A	古代・中世の地中海国際関係史に関する一次史料の英訳を輪読しながら、そこからいかなる情報が得られるかを検証する。	2,3,4	*	*		△	△	△	△
41722	地中海世界国際関係史演習B	Aの課題を引き継ぎ、その深化を目指す。	2,3,4	*	*		△	△	△	△
41723	西洋中世都市史演習A	徹底的に辞書をひいて文意をとる。その地味で忍耐を必要とする作業の積み重ねによって、ドイツ語を読むことの難しさと醍醐味を味わってもらいたい。	2,3,4	*	*		△	△	△	△
41724	西洋中世都市史演習B	徹底的に辞書をひいて文意をとる。その地味で忍耐を必要とする作業の積み重ねによって、ドイツ語を読むことの難しさと醍醐味を味わってもらいたい。	2,3,4	*	*		△	△	△	△

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	歴史文化学コース (西洋史学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol>	<p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概論的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広める。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究手法を学ぶ講義科目や文献講読を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要なとするスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>	<p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献にあたり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いバリエーションを養うことができる。</p>
--	--

**専門分野のカリキュラム**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期						
41725	西洋中世国制史演習A	徹底的に辞書をひいて文意をとる。その地味で忍耐を必要とする作業の積み重ねによって、ドイツ語を読むことの難しさと醍醐味を味わってもらいたい。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41726	西洋中世国制史演習B	徹底的に辞書をひいて文意をとる。その地味で忍耐を必要とする作業の積み重ねによって、ドイツ語を読むことの難しさと醍醐味を味わってもらいたい。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41727	西洋中世社会史演習A	徹底的に辞書をひいて文意をとる。その地味で忍耐を必要とする作業の積み重ねによって、ドイツ語を読むことの難しさと醍醐味を味わってもらいたい。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41728	西洋中世社会史演習B	徹底的に辞書をひいて文意をとる。その地味で忍耐を必要とする作業の積み重ねによって、ドイツ語を読むことの難しさと醍醐味を味わってもらいたい。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41729	西洋近代国際関係史演習A	ヨーロッパとは何かを問う英文テキストを輪読しながら、ヨーロッパとは何かを国際関係史的観点から考察する。卒業論文作成に必要な英文の専門書を読む力をつけるとともに、ヨーロッパ史研究に関する最新の研究動向を理解する。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41730	西洋近代国際関係史演習B	ひき続きAの課題を深める。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41731	西洋近代政治文化史演習A	卒業論文作成に必要な英文の専門書を読む力をつけるとともに、ヨーロッパ史研究に関する最新の研究動向を理解する。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41732	西洋近代政治文化史演習B	ひき続きAの課題を深める。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41733	西洋近代文化表象史演習A	ヨーロッパとは何かを問う英文テキストを輪読しながら、ヨーロッパとは何かを文化表象史的観点から考察する。卒業論文作成に必要な英文の専門書を読む力をつけるとともに、ヨーロッパ史研究に関する最新の研究動向を理解する。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41734	西洋近代文化表象史演習B	ひき続きAの課題を深める。	2,3,4	*	*	△	△	△		△	△
41741	西洋史学実習A	卒業論文作成の準備過程として、論文執筆のための実践的方法を取得する	3	*			◎	◎	◎	◎	◎
41742	西洋史学実習B	ひき続きAの課題を深め、論文執筆の方法を学ぶ。	3		*		◎	◎	◎	◎	◎
31001	卒業論文演習A	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野における研究課題の設定、先行研究の調査・読解の適切な方法を身につける。 ・学術論文の形式を理解する。	4	*			◎	◎	◎	◎	◎

学域名	人間社会学域
学類名	人文学類
コース名(専門分野名)	歴史文化学コース (西洋史学専門分野)

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)	コースのディプロマ・ポリシー(学位授与方針)
<p>人文学類では、人間の行動・思考・創造、思想・歴史・文化・言語について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする学問(コース・専門分野)の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ以下のような学類の学習成果を上げた者とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テキストを正確に読解することができる。</li> <li>2. 文化や社会、人間行動に関して、課題を発見することができる。</li> <li>3. 課題を探究するために、情報収集・調査や、情報の分類・分析を行うことができる。</li> <li>4. 知識を人びとと共有するために、自らの議論を説得的かつ論理的に口頭あるいは文章で表現できる。</li> <li>5. 他者理解に対する高い関心とコミュニケーション能力を持つ。</li> <li>6. 複数の議論を整理し、それらを総合する思考力を持つ。</li> </ol>	<p>歴史文化学コースでは、人間の歴史・文化・思想・言語、思考・行動・創造について考究する人文諸学の成果を学び、専門とする歴史文化学コースの各専門分野の専門知識を有し、さらには人文諸学の総合的・学際的視野を持った人材を養成する。学士(文学)の学位を授与される学生は、以上の人材養成目標に到達し、かつ学類のディプロマ・ポリシーに掲げた学習成果を上げるために、以下のような歴史文化学コースの学習成果を上げた者とする。</p>

学類・コースのCP(カリキュラム編成方針)	コースの学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがとくに強く求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
-----------------------	--

<p>【学類のCP】 人文諸学の学問体系の骨格を理解できるよう、カリキュラムのシステムを構築している。入学初年次は基礎的な科目を学び、学年進行に従って応用的・発展的な科目を学ぶ。特に3、4年次生は進路に即した科目を学ぶ。</p> <p>【コースのCP】 1年次には、歴史学・考古学分野全般を概観する概念的な科目を学ぶと共に隣接諸科学の知見を広める。2年次には、歴史学・考古学研究の各専門分野の基本的思考法や研究手法を学ぶ講義科目や文献講読を中心とした科目を履修し、最新の研究状況の把握に努める。3年次には、研究対象に対して広範かつ高度な分析を行う手法を学び、さらに、自分の関心に基づいて独自の研究を行う準備を整えるための各専門分野の科目を履修する。4年次には、自分の研究を「卒業論文」にまとめるのが最終的な課題である。これに加え、各年次でそれぞれの専門分野に必要なとするスキルを習得するために用意された講義や演習を履修する。</p>	<p>過去の人類の営みをたどることで、現代社会が直面する多くの問題の本質を理解し、将来を展望する能力を高めることができる。</p> <p>設定した課題に対して、多様な手段を駆使して情報を収集し、必要な知見を精査、抽出できる。</p> <p>史料を正確に読解し、論点を整理、要約して、口頭や文書などで報告することができる。</p> <p>多くの文献にあり、多様な学説を相互に検証しつつ考察を重ねることで、独自の論考にまとめることができる。</p> <p>時間、空間の異なる世界を考察の対象とし、多様な価値観や思考法に接することで、それらに共感し、理解する能力を高めることができる。</p> <p>歴史的事象との対話を繰り返すことで、深い洞察力と幅広いバリエーションを養うことができる。</p>
--	---

**専門分野のカリキュラム**

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期	後期						
31002	卒業論文演習B	・研究計画、研究の遂行、成果の取りまとめという一連の過程を実践的に学ぶ。 ・専門分野において適切な研究計画を遂行するための技法、考え方を身につける。 ・得られた情報を総合的に考察し、研究成果を的確に報告できるようになる。	4		*		◎	◎	◎	◎	◎
31003	卒業論文	・学術論文の習作と位置づけられる論文を執筆することで、自らの研究成果を公表する技法を学ぶ。 ・人文学的学問において要求される論理性や科学性の質、水準を理解し、それを充たすために必要な論述の条件について知る。	4		*		◎	◎	◎	◎	◎
11001	人文学序説1	・人文諸学の専門分野で学ぶ内容の概要を把握する。 ・人文学類における学問の全体をイメージできるようになる。	1	*			◎				
11002	人文学序説2A	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・ラボラトリ(実験)、テキスト(文献読解)、サーベイ(調査と分析)、フィールド(野外実習・調査)という方法の基礎的な知識を理解する。	1		*		○				
11003	人文学序説2B	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・人文学の基礎的素養としての歴史学について、歴史資料の捉え方、研究の課題、研究方法の基礎的な知識を理解する。	1		*		◎				
11004	人文学序説2C	・人文学類における学問の方法を学ぶ。 ・人文学の基礎的素養としての言語学・文学について、基本的な視座や研究方法についての基礎的な知識を理解する。	1		*		○				
11005	学類共通英語1	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	2	*				◎		◎	◎
11006	学類共通英語2	・人文学の諸学問を学んでいくための基礎的な英語力を身につける。 ・「学類共通英語1」より高いレベルで、英語で書かれた文献を読解し、専門分野における研究成果や考え方を英語で理解する力を身につける。	3	*				◎		◎	◎